

# 八峰コミスク通信

平成30年度  
第12号  
H30/11/30  
CSディレクター  
工藤

11月16日「**地域とともにある学校づくりフォーラム香川会場**」に参加して①

○全国の公立学校（幼稚園、小中高、支援学校等）でコミュニティ・スクールを導入している学校が増えて、全体の14.7%に及んでいます。さらにここ1,2年で倍以上になる見込みで、これは29年3月の法改正で『コミュニティ・スクールの設置を努力義務化』としたことにより、全国の教育委員会や学校が導入を前向きに考えているためです。ちなみに会場には全国各地から500人が集まりました。



○「コミュニティ・スクールは地域と結びつきのない都会向けの制度」などの思いを抱いていましたが、『激化する社会情勢や経済情勢、AIの普及などにより予測困難な未来が待ち受けています。これらに対応するために、コミュニティ・スクールで学校と地域と家庭がより連携・協働して、未来を生き抜く子どもたちを育てましょう』と流れたスクリーンメッセージに思わず納得していました。

## Dのあつちこつち見聞録8

D（コミュニティ・スクールディレクター）として、観て、聴いて、感心したことを紹介しています。  
※取材していない行事についてはごめんなさい。

### 八峰中「総合学習全校発表会」

11月8日体育館で、八森小と峰浜小の両6年生を招いて、総合学習の発表会が開催されました。1年生は「職場体験」、2年生は「秋田駅ぼろーどでの町の観光・特産品PR活動」、3年生は「アントレプレナー学習での特産品開発とんめもの祭りでの販売活動」についての報告会でした。

どの学年もきびきびと、堂々と発表してすごかったです。全校で発表会をすることで、活動の成果や反省点が来年の学年に引き継がれることにも感心しました。小学6年生たちも来年に向けての心構えはできたようです。

### 八峰中「金融教育公開授業」

総合学習発表会の後に、山形県在住のダニエルカール氏を招いて開催された金融教育授業。「日本の家庭では、子どもにお金の話しをした



がらないようだけでも、アメリカではお金で失敗しないように、小さい時から家庭で教えている。社会人になって失敗しないように、今のうちにお金の話をしたらいいんでねが」と、山形県人より上手な山形弁(?)での講演に会場は終始笑いに包まれていました。

今回の金融教育講座は、ことぶき大学の体験入学も兼ねていて、282人ものことぶき大学生も楽しく講座を聴講することができました。

### 八森小「八森に笑顔と元気を届け隊」

11日の日曜の早朝に行った親子クリーンアップ隊の名前です。このネーミングを聞いただけで地域が元気になりそううれいでした。隊の「のぼり旗」を3本新調したそうですが、見逃してしまいました。次回撮ります！

### 峰浜小「文化庁巡回朗読劇での合唱共演」

12日、日本音楽集団による洋楽器と音読の「ごんぎつね」芸術鑑賞会があった、途中に6年生の合唱共演がありました。会場が一体化した良い劇に仕上がって、一緒に鑑賞した保護者も感動していました。

それにしても、「ごんぎつね」はいつ聞いても涙しちやいます。

